

春光



太鼓部



琴部



中学吹奏楽部



ご挨拶

京都橘中学校・高等学校春光会
会長 宗 裕子
(旧姓 上田
昭和58年普通科卒)

新緑が美しく、木漏れ日も眩しく感じられる季節となりました。

春光会会員の皆様におかれましては、お変わりなくお健やかに過ごしてでしょうか。

平素は春光会の活動にご理解とご支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。

この春には新たに、京都橘中学校・高等学校を卒



ご挨拶

京都橘中学校・高等学校
校長 安田 文彦

新緑の野山にさわやかな風が吹き抜ける季節となりました。春光会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より母校への変わらぬご支援、ご援助を賜り心から厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年度は全国各地で起こった地震や火災、夏秋の記録的な猛暑や局地的な大雨・大雪などの異常気象により多くの人々が苦しめられる年となりました。また、近年の社会における国際情勢の不安定さや物価上昇、社会構造の変化に加え、生成AIをはじめとする技術革新は、私たちの生活や仕事、そして教育の在り方にまで大きな影響を及ぼしています。特に少子化の進行が強く意識される中で始まる高校授業料無償化は、学校教育、とりわけ私学の存在意義と役割が大きく問われるようになってきます。こうした時代のうねりの中で、学校は単に学力を育成する場にとどまらず、生徒が将来を生き抜くための力や価値観を育む場として、より本質的な役割を果

業された三七一名の方たちを会員としてお迎えし、共に母校を応援していければと願っております。

今年も七月には、総会並びに橘翔会、橘幸会の皆様との合同懇親会を開催いたします。本校発祥の地にあります京都ブライトンホテル様にはここ数年お世話になっておりましたが、残念ですがリニューアルのためしばらく休館されますので、この地での開催は一旦今回が最後となります。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

難しい世の中ですが、京都橘の皆様の活躍を耳にしますと、卒業生として誇らしく思うとともに先輩として恥ずかしくない生き方をせねばと思ひ、小さな事でも誰かの力になれるようにと過ごしております。

末筆ではございますが、卒業生の皆様のご活躍と母校の益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

たすことが求められています。本校が掲げる教育理念「自立・共生」は、まさにこの時代において私たちが大切にすべき指針であり、生徒一人ひとりが自ら考え行動する力と、他者と共に生きる姿勢を育むことの重要性を示していると考えています。

そのような中、今年の京都橘は、中学校の「Vαクラス」一クラス設置が二年目となり、昨年と同様に多くの入学生を迎えることができました。また、高等学校においても、専願受験者数が大幅に増加し、これからの京都橘の未来が非常に楽しみな状況にあります。また、日々の教育活動でも、探究の授業では地域でご活躍されている多くの事業家の方々に生徒たちと深く関わっていただいております。こうした学校の枠を越えた教育活動は生徒たちの人間的成長に大きな影響を与えています。学校行事においても、生徒会執行部を中心に生徒たち自身がさらに楽しく充実した橘ライフを送れるよう精力的に活動しており、そんな生徒たちの頼もしい姿を見ながら教職員も生徒たちと共に充実した日々を過ごしております。

この先の京都橘が益々元気になっていくために、私たちは当たり前のように過ごしている学校生活に對しての感謝の気持ちを忘れず、一日一日を大切に過ごしながら努力を積み重ねて参りますので、なお一層のご支援をいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

会務報告

2024年4月～2025年3月

2024年

- 4月8日 中学・高等学校入学式 臨席
6月17日 役員会
6月29日 春光会総会 (京都ブライトンホテル)
7月 女子バレーボール部、陸上競技部 全国IH出場 太鼓部 全国高校総合文化祭出場 (お祝い金贈呈)
9月7日 役員会 吹奏楽部 マーチング全国大会出場 (お祝い金贈呈)
12月 女子バレーボール部 春の高校バレー出場 男子サッカー部 全国高校サッカー選手権大会出場 (お祝い金贈呈)

2025年

- 2月1日 役員会
2月 ロボットプログラミング部 U-16全国大会出場 (第3位入賞) (お祝い金贈呈)
2月28日 春光会入会式
3月1日 高等学校卒業式 臨席
3月18日 中学校卒業式 臨席

- 西村 裕介 (平15卒)
武永 康宏 (平15卒)
幡井 信子 (平11卒)
村上 香織 (平5卒)
中辻 道子 (平5卒)
小松 里奈 (平5卒)
寺田 由香 (平1卒)
森 芳 (昭62卒)
井上 和子 (昭58卒)
常任委員
高橋 弘美 (昭62卒)
池田 美和 (昭63卒)
会計監査
平野 万里子 (昭63卒)
松井 京子 (昭44卒)
会 計
西村 育恵 (昭61卒)
森安 優子 (昭61卒)
副 会 長
宗 裕子 (昭58卒)
会 長

2025年度 春光会役員

2025年度 春光会総会報告



昨年7月5日(土)に2025年度の総会を京都ブライトンホテルにて開催いたしました。

会員50名 学校関係者4名の参加でした。

総会では「会務報告、会計報告、予算案、役員」が提案され、いずれの議案も満場一致で承認されました。

総会終了後は、退職教職員の会である「橘翔会」と卒業生父母の会の「橘幸会」との合同懇親会も同時に開催し、多くの皆様に参加して頂きました。

ビンゴゲームや近況報告、卒業生によるシャンソンの披露等で盛り上がり、大変賑やかな会となりました。最後に校歌を合唱して閉会いたしました。



【春光会2024年度決算】

経常費

自 2024年4月1日 至 2025年3月31日

Table showing income and expenses for the 2024 fiscal year. Income total: 10,993,612. Expense total: 1,255,294. Net income: 12,579,345.

Table showing detailed expenses for the 2024 fiscal year. Total expense: 1,255,294. Categories include business fees, support fees, celebration fees, etc.

基本財産

Table showing basic assets including interest income and other financial items.

財産目録

Table listing assets such as cash, bank deposits, and other financial resources.

単位：円

【春光会2025年度予算】

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日

Table showing the budget for the 2025 fiscal year. Total budget: 12,499,445.

Table showing the budget for the 2025 fiscal year, detailing expected expenses and their purposes.

単位：円

どんどん開こう 同窓会

春光会では、学年、コース、クラス、クラブ単位等の同窓会開催、企画を援助するための補助制度を設けています。はたちを祝う会（20歳）、半世紀（50歳）、還暦（60歳）等、節目の年に開催されるケースもあります。開催をご計画の方は事務局までご一報ください。（連絡先はP. 8をご参照ください）



1967年被服科卒
3年6組同窓会 2025.11.7

卒業して60年近く、毎年のように同窓会が開かれ、先生方もいつもお元気で参加していただいております。私達も今年は喜寿を迎え、先生にはお祝いをさせていただき感謝しております。2時間程の会でしたが、「あの時はな…」と和気あいあい楽しく過ごしました。



2024年卒 120期生
Aコース同窓会 2026.1.10

久しぶりに集まった顔ぶれで、和気あいあいと歓談を楽しみました。ビンゴゲームでは大いに盛り上がりました。



2024年卒 120期生
Sコース同窓会 2026.3.15

3月15日、120期Sコース同窓会を行いました。先生方を含め62名にお越しいただき、ゲーム等の企画も行い、大盛況となりました。

寄付金のお礼とお願い

春光会に対して、会員の方々からご寄付をいただきました。氏名を掲載し、お礼に代えさせていただきます。引き続き一口千円の寄付を受け付けていますので、同封の振込用紙でお願いいたします。住所、氏名と通信欄の寄付の欄に「口数、金額」をご記入ください。あわせて、卒業年、科も忘れずにご記入ください。

ご寄付をいただいた方々(敬称略)

| 氏名 | 卒業 |
|-------|----------|
| 岡田ふさ子 | 昭20卒・第二本 |
| 藤井 昭子 | 昭25卒・普 |
| 窪田ヨシ子 | 昭35卒・被 |
| 高嶋佐知子 | 昭35卒・被 |
| 川口 良子 | 昭37卒・被 |
| 松井 京子 | 昭44卒・被 |
| 細見佳壽子 | 昭48卒・商 |
| 中川 一恵 | 昭51卒・普 |
| 安積 雅子 | 昭52卒・普 |
| 梅川 嘉子 | 昭54卒・普 |
| 宗 裕子 | 昭58卒・普 |
| 村上夕美子 | 昭58卒・普 |
| 平野万里子 | 昭63卒・普 |

同窓会補助金制度

案内送付対象者数

20～ 50人 10,000円
51～ 100人 15,000円

以上、50人を超える毎に
5,000円アップします。

学校のホームページ

「同窓会」ページから

申請書等のダウンロードもできます。

*補助を受けた場合、会報等で紹介したいので、報告書、写真と案内対象者の名簿をご提出ください。

「ファミリー学費減免奨学金」制度

嬉しいことに、兄弟姉妹や親子二代、三代で京都橘中学校・高等学校にご入学いただくケースが増えています。兄弟姉妹が本校に同時在学、または兄弟姉妹・父母が本校卒業生の場合、入学金相当額が免除されます。

是非「橘ファミリー」に!

入会式

高校卒業式を翌日に控えた2月27日、フェスティバルホールにて、春光会入会式を行いました。新たに同窓会会員になられる122期365名の皆さんへ宗会長よりメッセージを贈り、入会記念品として「ロゴマーク入り真空二重マグカップ」を贈呈いたしました。シンプルなデザインになっており、卒業後の新生活でもご活用いただけると思います。



恩師からのメッセージ

在職時の窪田先生



124期生の研修旅行先のベトナム・ハノイにて



122期生の研修旅行先の沖縄にて



三方よしの学校づくり

窪田 隆夫 先生
(一九七八年〜二〇二三年 数学科)

私は京都橘で教育に携わられて、とてもよかったと思っています。

単に教科で生徒に学力をつけるだけでなく、人間教育というか、社会の一員としてのあり方にも力を入れた教育を実践してきたと思っています。大学で「環境と公害」について学んできましたが、総合講座という授業を担当

する事ができて、現代の社会問題を生徒と共有することができました。

また、学年委員会という生徒の自治組織を担当することも多く、夏休みなどを利用して合宿を行い、生徒同士の意見の交流で信頼関係を深めていった活動が、懐かしく思い出されます。現在の社会は一層複雑化

しています。それに見合う教育も変化しています。近江商人は心得として「売り手よし、買い手よし、世間よし」の三方よしの商売をしていたそうですが、橘教育も「教師は人間味あふれる質の高い教育を行い、生徒・保護者に信頼され、そして、世間の評判もよい」そんな学校づくりを今後も大切にしていってほしいと願っています。卒業生の皆さんも、橘の発展を期待しておられると思います。是非、母校の評判など、ご意見を寄せて頂き、暖かく見守って頂けたらうれしく思います。



出会いに感謝を込めて

結城 史訓 先生
(教頭 英語科担当)

二〇〇八年度、二七歳で本校へ着任し、一〇五期の英語授業を担当させていただきました。クラブ顧問はバトン部。球技一筋だった私にとって、バトンとの出会いは予想外でしたが、懸命に練習する生徒たちの姿に背中を押され、毎日足を運びました。やってみると、そこには必ず学びがある。今もスタジオでライ

二〇〇八年度、二七歳で本校へ着任し、一〇五期の英語授業を担当させていただきました。クラブ顧問はバトン部。球技一筋だった私にとって、バトンとの出会いは予想外でしたが、懸命に練習する生徒たちの姿に背中を押され、毎日足を運びました。やってみると、そこには必ず学びがある。今もスタジオでライ

んな手紙をもらいました。「口出しはしないけど、教室の端で見ている。どうしてもという時に助けてくれる。見守ってくれている」という安心感は大きかった。「この言葉は、今も大切な宝物です。振り返れば、生徒・保護者の皆さまに育てていただいた教員生活です。これからの出会いに感謝し、これからも「京都橘に来てよかった」と思ってもらえるよう精進してまいります。またいつか帰ってきてください。」



三〇年間の変化とともに

丸尾 千恵美 先生
(養護教諭)

普通科が総合進学コース、特別進学コースに改編された一九九五年にこの京都橘に入職しました。

に、この三〇年を歩んできたのだと改めて実感しています。

あれから今年で三〇年。例えば、国際コースの設置、女子高から男女共学、中学校開校など大きな変化をしてきた時期でもありました。その変革と共に

保健室は担任の先生や教科担当の先生とは違い、関わる事ができるのは、限られた一部の生徒だけです。でも違う立場だからこそ、保健室だからこそ、関わることのできた人

達もいたように思います。共に泣き、笑い合った日々が懐かしく思い出されます。そんな「来るもの拒まず、去る者追わず……」で出会った生徒たち。縁あってこの京都橘で出会った一人ひとりが、自分を大事にできる人であつたら嬉しいですね。京都橘はこれから先も、まだまだ変化し続けると思っています。その「変化を楽しむ人であれ」と願います。

会員からのメッセージ



生徒玄関前の橘の木



在学時の吹奏楽部のメンバーと



元担任の早見先生と

橘は第二のホーム

Vコース二期生

辻成一郎さん(二〇一七年卒)
七海さん(二〇一七年卒)
(旧姓 吉澤)



二人ともVコースの二期生として、この橘に入学しました。六年間という長い年月を、ともに過ごしてきた仲間。その思い出は、今でも強く心に残り続けています。どこのクラスよりも仲が良く、文化祭等の行事で一致団結できるいいクラスでした。部活動では他のコースとの交流もあり、クラスの垣根を越えて、色々な意見や考えを持った人と関わる事ができました。こうした中で、私たちは周りの人と協力し合うことの大切さをこの橘で

学び、それは社会人として働き出してからでも大事にしています。そして、大変だった大学受験期。たくさんの先生方がそばで見守り、支え続けてくださいました。先生方はいつでも心強い味方で、私たちの自信につながり、楽しい大学生生活を送ることができました。卒業してからも先生方との交流は続いており、二人で足を運ぶといつもあたたかく迎えてくださいます。そんな京都橘は、私たちにとって大切な仲間・先生との思い出がいっぱい詰まった特別な場所。私たちの第二のホームです！



「京都橘」との出会いと学びと

森田道子さん(一九四九年卒)

時折、自分の人生は太い橘の木の幹に支えられ生きてきたように思います。出会いは八三年前、小学校六年の一月。四月から進学する女学校選びに迷っていた時、偶然近所のK子さん(京都高等手芸女学校在学中)にお目にかかり、学校の様子などお聞きしている中で先生と生徒の信頼関係に子供ながら心を打たれ、その場で「手芸女学校」を受験する決心をしました。

幸い入学許可され、第一本科四年、専攻科二年の六年間学ぶことになり、期待通りの教育熱心な雰囲気と先生方の熱心な指導に引き込まれ、楽しい学校生活となりました。しかし、当時の日本は太平洋戦争の真ただ中、学徒動員令により学業を放棄し軍需工場へ通う毎日を経験し、八月に敗戦。激しい虚脱感のなか、「これで学校へ戻れる」という喜びに友達と手を取り

合って小躍りしました。卒業後数年経て母校の教員に採用され、三三年間在職しました。社会人一年生の私は恩師や先輩の先生方と共に「教員」という未知の経験をする事になり、諸先生方の温かなご指導や、時には厳しい叱咤激励を受けながら成長できたことをありがたく思い出します。今年九五歳になり、私の中の「橘の木」は老木となり、枝葉は多少枯れ落ちましたが、幹は健在です。残り少ない日々となりましたが、古くなった幹に、新しい枝葉をひとつでも育てながら一日一日を大切に生きていきたいと思う、今日この頃です。



橘での経験が原動力

一〇八期生
講崎里穂さん(二〇二二年卒)

中学生でトランペットを始め、憧れていた橘に入学して、三年間とは思えない程たくさんの経験をさせてもらいました。

日本国内様々な会場で演奏し、二回海外遠征にも行きました。その中でも高校三年で行ったアメリカ遠征は、自分の中のターニングポイント

トだったかもしれません。三年生として、たくさんソロも演奏しました。元々練習は好きでしたし、トランペットをもっと上手になりたいと思っていましたが、アメリカで演奏した時のお客様の歓声は今でも忘れられません。あのような盛大な歓声を浴びたのは生まれて初めてで

した。あのとき、「もっと上手になりたい!」「聴いてくださる方に喜んでほしい!」と強く思いました。私は今、東京都の新日本フィルハーモニー交響楽団というプロオーケストラにトランペット奏者として所属しています。プロになりたいと思ったのも、橘でのあの経験があったからこそで、自分が好きなものを仕事にできている事がとても嬉しい事です。これからも自分の課題と向き合いながら、日々成長していきたいです。



入試状況

中学校

九〇名募集体制による一学年三クラス編成は、昨年度の完成年度を経て、二〇二六年度には全学年三クラスずつの計九クラス体制が完全に定着いたしました。また、高校入学者と混ざらずに純粹な中高六年一貫教育を行う「Vαクラス」は、募集二年目を迎えました。

特筆すべきは、募集二年目となるVαクラスの圧倒的な人気上昇です。昨年度のものべ三七八名から、本年度はのべ四四九名へと大幅に志願者を伸ばしました。学校全体の総志願者数も、昨年度の五七九名からのべ六七五名へと大きく伸長し、京都府内の私立中学校で第三位、平均出願競争率は七・三倍を記録して府内第二位の人気ぶりとなりました。

新入生は計一〇二名を迎えることとなりVαクラスが三〇名(二クラス)、Vκクラスが七二名(二クラス)の編成で新年度をスタートいたします。少人数によるきめ細やかな指導が可能な、バランスの良い構成となりました。

高等学校

二〇二六年度入試は、二類型・進路別クラス編成が受験生や保護者の皆様に広く浸透し、本校独自の教育スタイルが確立された年となりました。完成年度を経て、さらなる教育の質の向上を目指す新たな展開を迎えております。京都府内の

私立高校全体における志願者数や平均倍率は、前年度から大きな変動はなく概ね横ばいの状況にありましたが、その中にあっても本校は、昨年よりも多くの志願者に受験していただく結果となりました。

特に、国立大学進学を目指す「選抜類型」は、コース別倍率が一・七倍に達し、府内私立の中でも際立った注目を集める結果となりました。結果として、二〇二六年度は募集定員の二六〇名を大きく上回る外部入学者三二六名、内部進学者をあわせて計四〇三名の新入生を迎えます。

新しい仲間がもたらす活気とともに、さらなる高みを目指して、教職員一同、一人ひとりの成長を支える教育に心を込めて取り組んでまいります。



進路状況

二〇二六年度入試は、公募制推薦入試において、学力試験に加え、小論文や面接など多面的・総合的評定が行われ、各大学の出願書類に志望理由書や学修計画書の提出が求められることとなりました。

主な合格者数

(4月1日現在)

■国立大学 (57名)

| | |
|----------|----|
| 京都大学 | 1名 |
| 大阪大学 | 3名 |
| 神戸大学 | 1名 |
| 北海道大学 | 3名 |
| 京都工芸繊維大学 | 2名 |
| 京都教育大学 | 1名 |
| 京都府立大学 | 1名 |
| 大阪公立大学 | 5名 |
| 奈良県立医科大学 | 1名 |
| 奈良県立大学 | 1名 |
| 滋賀大学 | 3名 |
| 滋賀医科大学 | 2名 |
| 滋賀県立大学 | 2名 |
| 兵庫県立大学 | 1名 |
| 神戸市外国語大学 | 1名 |
| 名古屋工業大学 | 1名 |
| 東京外国語大学 | 1名 |
| 横浜国立大学 | 1名 |
| 広島大学 | 1名 |
| 福井大学 | 1名 |
| 長崎大学 | 1名 |
| 高知大学 | 3名 |
| 徳島大学 | 1名 |
| 香川大学 | 1名 |
| 信州大学 | 1名 |
| 長野大学 | 1名 |
| 富山大学 | 1名 |
| 鳴門教育大学 | 1名 |
| 高知県立大学 | 2名 |
| 高知工科大学 | 3名 |
| 島根県立大学 | 1名 |
| 琉球大学 | 1名 |
| 名桜大学 | 1名 |

■私立大学 (1,924名)

| | |
|-------------|--------|
| 同志社大学 | 28名 |
| 立命館大学 | 73名 |
| 関西大学 | 32名 |
| 関西学院大学 | 7名 |
| 早稲田大学 | 2名 |
| 慶應義塾大学 | 1名 |
| 明治大学 | 3名 |
| 立教大学 | 1名 |
| 青山学院大学 | 2名 |
| 法政大学 | 3名 |
| 中央大学 | 2名 |
| 近畿大学 | 134名 |
| 龍谷大学 | 93名 |
| 京都産業大学 | 51名 |
| 甲南大学 | 3名 |
| 京都橘大学 | 1,261名 |
| 大和大学 | 9名 |
| 追手門学院大学 | 17名 |
| 摂南大学 | 24名 |
| 同志社女子大学 | 24名 |
| 京都女子大学 | 18名 |
| 関西外国語大学 | 13名 |
| 佛教大学 | 12名 |
| 大阪工業大学 | 16名 |
| 武庫川女子大学 | 15名 |
| 立命館アジア太平洋大学 | 1名 |
| 関西医科大学 | 3名 |
| 埼玉医科大学 | 1名 |
| 順天堂大学 | 1名 |
| 産業医科大学 | 1名 |
| 藤田医科大学 | 2名 |
| 京都薬科大学 | 2名 |
| 大阪医科薬科大学 | 1名 |

た。大学入学共通テストについては、出願方法が高等学校からの一括出願からWeb出願へと変更され、登録・変更・受験票取得など、さまざまな手続きをWeb上で行う方式へと移行しました。

こうした制度変更の中、秋の入試が始まり、できるだけ早く進路先を確定したいという三年生が増え、総合型選抜・学校推薦型選抜を利用する受験生が多く見られました。年明けの一般入試では、受験生の学力層による二極化が進み、関関同立では、一般入試へ回帰する傾向も見られました。

新課程入試初年度(昨年度)の受験生が既卒生として残っていたことから、難関大学への挑戦姿勢が強い受験生も増加しました。新課程二年目となる大学入学共通テストでは、現役生の志願は微減となる一方、既卒生は七年ぶりに増加となり二年連続微増となりました。難易度については予想どおり、文系・理系ともに「難化(平均点ダウン)」しましたが、国立大学の志願倍率は昨年並みの約四・三倍でした。

このような中で二三期生三六五名は、

年内実施の指定校推薦・内部推薦入試、総合型選抜(AO入試)、学校推薦型選抜(公募制推薦)入試に加え、年明けの共通テスト、私立大学一般入試、国立大学二次試験まで、最後まで自らの進路実現に向け粘り強く挑戦してくれました。

その結果、二〇二六年度入試では、難関国立十大学と医学科(十名)の合格が出ており、国立十大学へは合計五七名が合格しました。私立大学では、早慶MARCHE一四名、関関同立一三七名、産近甲龍二八一名、京都橘大学二六一名(内部進学七八名を含む)等、延べ一九二四名が合格しました。また、上位校への進学に加え、プロサッカー選手としてJリーグクラブに所属する生徒も誕生しました。

卒業生の皆さん、本当におめでとうございませう。六年間、三年間にわたり温かく見守り支えていただいた保護者の皆様にも、心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さんの今後のさらなる活躍を、教職員一同心より応援しています。

TOPICS

2025年4月～2026年3月

- 7月 ●太鼓部 全国高等学校総合文化祭(郷土芸能部門) **優良賞**
- 男子サッカー部 全国高等学校総合体育大会(インターハイ) 6回目の出場
- 陸上競技部 全国高等学校総合体育大会(インターハイ)
 - 女子4×400mリレー 第2位
 - 女子4×100mリレー 第6位
 17大会連続24回目の出場
- ロボットプログラミング部 WRO Japan 2025 公認 京都予選会 ジュニアミドル部門 第1位～第3位
- 8月 ●女子バレーボール部 全国高等学校総合体育大会(インターハイ) 26大会連続28回目の出場
- 9月 第78回国民スポーツ大会 ビーチバレー(少年女子) 井上 歩美 優勝
- 第78回国民スポーツ大会 バレーボール(少年女子) 京都橘単独チームで出場
- 10月 第78回国民スポーツ大会 陸上競技 (成年少年女子共通)
 - 4×100mリレー 第1走者、第3走者 第8位 (少年女子B)
 - 100m 崎山 姫花 第6位
- 11月 ●吹奏楽部 全日本マーチングコンテスト **金賞 (5年連続)**

- 12月 ●男子サッカー部 全国高等学校サッカー選手権大会 3年連続12回目の出場
- 吹奏楽部 台湾遠征
- 1月 ●女子バレーボール部 全日本バレーボール高等学校選手権大会 28回目の出場
- ロボットプログラミング部 U-16プログラミングコンテスト CHaser 全国交流大会 出場 中学 竹内 優祐 ITジュニアU-16賞2026を受賞
- 2月 ●ロボットプログラミング部 日本情報オリンピック 出場 高校 加藤 大晏
- 3月 ●女子バレーボール部 全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会 ベスト8

卒業生の活躍

★男子サッカー
Jリーグ入団
ヴィッセル神戸

122期生 **伊藤 湊太** 選手



橘祭 2026

ご期待 ください!

9月11日(金)・12日(土)に母校で橘祭(文化祭)が開催されます。

2日目の土曜日は卒業生も参加可能です。是非ご来場いただき、生徒会を中心に後輩たちが創り上げる「橘文化」をご体感ください。

※ご来場の際は、受付でご記帳ください。
※イベントの詳細、最新情報は学校のホームページでご確認ください。



2026年**9月12日(土)** 9:30～15:00(予定)

- ◆各クラス・クラブによる展示・模擬店/クラブによるホール発表/中庭ステージ/有志によるグラウンドステージ 教員スペシャルバンドも登場!/生徒会企画
 - ◆TACHIBANA MARCHE キッチンカーや地元商店街のご協力による出店
- など楽しい催しが盛りだくさん!



2026年度 春光会総会・三団体合同懇親会のご案内

本年度の春光会総会を下記のとおり開催いたします。総会後の懇親会は、今年も春光会、橘翔会（退職教職員の会）、橘幸会（卒業生の保護者の会）三団体合同での開催となります。ホテルの美味しいお料理をいただきながら懐かしいひとときをお過ごしくださいませようご案内申し上げます。

懐かしい恩師もたくさんお越しのことと思います。同窓生の皆様お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。



記

◆ 日時 **2026年7月4日(土)**
午前10時30分から午後2時
(受付は10時)

◆ 場所 **京都ブライトンホテル**
京都府京都市上京区
新町通中立売下る仕丁町330
TEL (075)441-0489

本校
発祥の地



地下鉄烏丸線「烏丸御池駅」2番出口付近から
無料シャトルバスサービスあり

- ・地下鉄烏丸御池駅2番出口を出て直進 約100m
(御池通り沿い室町通手前付近に停車)
- ・烏丸御池駅発: 8時20分発以降、毎時00分・20分・40分(20分毎)



- ◆ 内容 **会務・会計報告・懇親会**
- ◆ 参加費 **春光会員4,000円**
(コース食事代込)

- ご出席のお申込みは会費の納入をもって受付とさせていただきます。
- 準備の都合上、お振込みは6月24日(水)までをお願いいたします。
- 次年度(2027年度)は京都ブライトンホテルが改修工事に入るため、別会場を予定しております。

懐かしい卒業生や先生方とお会いできる機会です。

●参加予定教職員(4月1日現在) 敬称略

退職教職員: 稲吉 陽作・安養寺 弘子・大竹 台吉・河村 知治・窪田 隆夫・小林 登代・汐崎 啓子・
田中 明美・仲村 靖・藤田 秀夫・森田 一美・若林 一也・北井 香苗

現教職員: 安田 文彦・藤本 義徳・石田 真希子・丸尾 千恵美・結城 史訓

※今後ご参加が決定の先生方につきましては、学校ホームページ内「同窓会」ページでお知らせします。ご注目ください。

<https://www.tachibana-hs.jp/reunion/>

訃報

謹んでお悔やみ申し上げます。

| | | | |
|---|--|--|---|
| 山本 悦生先生 2025年4月ご逝去 1974年度~2010年度 数学科教員 | 西村 均先生 2025年2月ご逝去 1994年度~1998年度 英語科教員 | 宮崎 眞知子先生 2026年1月ご逝去 1976年度~1997年度 国語科教員 | 小柳 博嗣様 2025年2月ご逝去 2013年度~2016年度 事務職員 |
|---|--|--|---|

事務局より

- ・会報誌がご実家に届いている場合は、ご本人に転送いただければ幸いです。
- ・住所等登録内容に変更がある場合は、HPの登録データ変更フォームからお知らせください。

<https://www.tachibana-hs.jp/reunion/date-change/>

- ・同窓会の活動につきまして、アイデアやご要望がありましたらお知らせください。

春光会事務局
京都橘中学校・
高等学校内

〒612-8026 京都市伏見区桃山町伊賀50
TEL: 075-623-0066 FAX: 075-601-2125
E-mail: shunkou@tachibana-hs.jp
<https://www.tachibana-hs.jp/>

新校舎見学会のご案内

2026年7月竣工予定の新校舎の見学会と茶話会を企画中です。(2026年10月17日(土)を予定)

当日は3階のホールにて吹奏楽部の皆さんに特別なステージを披露いただく予定です。

日程や申込方法等は、決定次第HPに詳細を掲載いたしますので、ぜひお越しください。

※急な変更が生じる場合があります。その際はご容赦ください。

学校法人京都橘学園

LINE 公式アカウント開設!

京都橘学園は、皆さまにより身近に情報をお届けするため、LINE公式アカウントを開設しております。各学校からの様々なお知らせを発信してまいりますのでぜひご登録ください。

▼ご登録方法

二次元コードを読み取る
またはLINEアプリで
「@340dxigq」を検索

